

船四艘ニ均分配給セリ。斃死率約三分ナリ中途時化ノ爲横當島ニ約十二時開漂泊セリ。

2、千島丸ハ六月九日ヨリ十三日迄本部村渡久地々元ニ於テ電氣集魚燈ニヨリ焚寄ヲナシ之レヲ各鯉漁船組合ニ交互ニ漁獲セシメ無償交付セリ。

(ニ) 成績

1、國南丸ニヨル配給餌料ハ餌料原價三二〇圓ト運搬經費(燃料經費二〇〇圓)ヲ加算シ五二〇圓トナリ、受給セザル四艘ノ漁船ノ漁獲ハ八九九圓トナリ一見採算的カラザル如ク見ユルモコハ専用運搬船ノ使用ニヨリ輸送原價ノ低廉化ト日歸ヲ操業ノ弊ヲ更メ經費ノ減少ト漁獲能率ノ向上ニヨリ採算的ナラシメ得ベシ。

2、千島丸ニヨル電氣集魚燈ニヨル焚寄漁獲ハ集魚早ク且集魚靜穩ニシテ燈光ノ加減自在ナル爲網獲ニ便利ニシテ漁獲能率良好ナリ、即チ當時營業船一日半籠位ノ漁獲ナルニ不拘第一晩ハ稚しいら及する、約一籠第二晩目ハおい及する、約二籠第三晩目ハする、及うふみ、約二籠ノ集魚アリ第三晩目ノ如キハ漁業者ハ操網ニモ馴レテ二籠殆ンド全部ヲ漁獲セリ。

四、染料効果比較試験

(イ) 趣 旨 各種漁網染料ノ効果ヲ比較試験シ漁業者ヲ撰擇ニ便ジ併セテ本縣ニ傳統古キ豚血染

(ロ) 方法

料ノ適補處方ヲ考究シ漁家經濟ノ向上ヲ圖ラントス
追込網及飛魚刺網ヲ目的トシ綿糸十八本及六本並ニ麻〇七匁付ノ三種ノ網糸ヲ各三
〇纏ニ切り之レヲカツチ豚血(純ノモノ水ト半々ニ混合ノモノ及腐敗セルモノ)クレ
オソート丹礬試驗染料A、B、C等ニテ施染シ場内タンク(海水ノ自由ニ出入スル)中
ニ深サ約一尋ニ浸漬一週間目毎ニ引揚破斷シ抗張力ヲ測定セリ。
最モ細菌ノ繁殖旺ナル時ヲ選ビ七月ヨリ八月迄

(ニ)(ハ) 結果

1、抗張力(耐久力)ノ優劣(最初ノ抗張力ノ二分ノ一トナル迄ノ日數)

一八本綿糸ニ對シテハ、クレオソート試驗染料B全A六本綿糸ニ對シテハ試驗染
料Bカツチ丹礬、麻ニ對シテハ、クレオソート、カツチB豚血水半々混合染料ノ順
位トナリ豚血ノ三種中ニテハ何レニ對シテモ水ト半々ニ混合セルモノ最モ優レリ
2、經濟價值ノ優劣(一)ノ日數ヲ當該染料ニテ染付タ網糸一〇貫匁ノ價格ヲ除シタ
モノ)綿糸一八本ニ對シテハ、クレオソート試驗染料B全A綿糸六本合ニ對シテハ
カツチ丹礬試驗染料B、麻ニ對シテハ丹礬クレオソート、カツチBノ順位トナリ豚
血三種中ニテハ何レニ對シテモ水ト半々混合染最モ優レリ

3、着生物ノ比較(網糸表面ニ着生セル水垢其他ノ雜物)

五、電氣集魚燈利用試驗

水垢ハ素系豚血染料カツチをみざるハ素系豚血染料カツチノ順ニ多ク豚血三種
中ニテハ水ト半々混合染料最モ多シ

(イ)(ロ)

趣 旨 火光利用漁業ノ光源ニ集魚能率良キ電氣集魚燈ノ利用ヲ普及セントス。
方 法 千島丸ヲ用ヒバカ柔魚釣ニ利用セシ外蕃養試驗ノ際餌料魚漁獲ニモ之レヲ利用セリ

柔魚釣ノ際ハ當業者ノ希望者ヲ千島丸ニ便乘セシメ實地ニ當リ之レガ性能ヲ試驗セ
シメタリ、尙本縣ニ於テハ釣獲ニ際シ友餌ヲ一尾掛ニテ使用シ不經濟ナル爲之ガ疑
餌釣ニヨル釣獲ヲ試ミタリ。

(ハ)

經過及成績ノ概要(鯉餌料魚ノ分ハ蕃養試驗ノ項參照)

本年度ハ他ノ試驗トノ關係上試驗日ハ短ク四日ニ過ギズ且漁期モ九月下旬ニシテ盛
漁期ニ供試シ得ザリシ爲單ナル豫察試驗ノ程度ヲ出デズ眞ノ成績ヲ知り得ザリシモ
大体左ノ如キ結果ヲ得タリ。

- 1、現在使用シツ、アルカーバイト燈ニ比シ集魚早ク漁獲多シ。
- 2、カーバイト燈ニテ釣獲シ得ザル月明ニテモ釣獲シ得。
- 3、カーバイト燈ニ比シ光源費約三分ノ一ナリ。
- 4、疑餌釣(ガガラ)ニテモ釣獲シ得レドモ引揚中離レ易シ。